

3 9 期生（令和 2 年 4 月入学） 授業内容計画

教科名【 公衆衛生学 】

教員名【 岡野 伊浩 】

| 講義No. | 授 業 内 容 |
|-------|---|
| 1 | 公衆衛生学の概要 公衆衛生の歴史などの概要について学ぶ |
| 2 | 衛生統計 平均寿命や出生率の種類（合計特殊出生率や再生産率など）とそれぞれの意味について学ぶ |
| 3 | 人口、寿命 人口動態統計と静態統計の違いとそれぞれの特徴。人口の変遷について学ぶ |
| 4 | 感染症 感染症の分類と種類、発症要因について学ぶ |
| 5 | 疫学 疫学の歴史と、各疫学調査について学ぶ |
| 6 | 大気 大気汚染の原因、歴史、影響について学ぶ |
| 7 | 水 上水道、下水道の普及率と取り決め、水質汚濁とその影響について学ぶ |
| 8 | 室内 生活環境（気温、気湿、気圧、シックハウス症候群など）について学ぶ |
| 9 | 労働衛生 各職業に特徴的な疾患とその原因、労働災害について学ぶ |
| 1 0 | 母子衛生 乳幼児期の特徴的な施策について学ぶ |
| 1 1 | 学校衛生 学校保健法と学校保健の内容について学ぶ。 |
| 1 2 | 老人衛生、精神衛生 老化と介護サービスについて学ぶ |
| 1 3 | 保健行政、医療制度 国民皆保険制度や医療費について学ぶ |
| 1 4 | 社会保障 生活補助や年金について学ぶ |
| 1 5 | 学期末試験 |

- 到達目標：・健康の定義を知り、疾病予防との関連を結び付けることができる。
 ・公衆衛生・予防医学の歴史を知り、社会福祉、社会保険など、現在の問題について関心を持てる。
 ・環境における現状と問題点に関する知識を身につけ、環境について意欲的に考える姿勢を身につける。
 ・各ライフステージの特徴と問題点を知り、それぞれの改善方法を考える力を身につける。

教科書名【 学生のための現代公衆衛生 南山堂 】

単位履修の方法と達成度の測定方法

授業の出欠と期末試験にて判定

- ・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。
- ・S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）

（総合獲得点数 S：90点以上 A：80～89点 B：70～79点 C：60～69 D：59点以下※不合格）

※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。